

「2017 年ブラジリア日本映画祭」開会式
山田大使挨拶（2017 年 10 月 4 日）

皆様、こんばんは。

この度は、「2017 年日本文化期間」の一環として、「2017 年ブラジリア日本映画祭」がこのように盛大に開催されることを大変嬉しく思います。開催に当たり、会場を提供して下さったセルジオ・モリコーニ・コーディネーターをはじめとしたシネ・ブラジリアの皆様、そしてブラジリア連邦直轄区政府文化局に心から感謝申し上げます。

昨年、5 日間の日程で「ブラジリア映画祭」を行ってきましたが、今年はより多くの方に楽しんで頂きたいと思い、8 日間に延ばしました。いまや日本を代表するアニメ映画監督の 1 人である新海誠氏の代表作品等、豪華なラインナップとなっております。

日本映画界の巨匠である故黒澤明監督は、1990 年米アカデミー賞・特別名誉賞が贈られた際の受賞スピーチの中で、次の言葉を述べました。「私はまだ、映画がよくわかっていない。」。

この言葉が表すように、映画は奥が深く、無限の可能性を秘めています。また、我々観客にも、多様な感想や解釈があり得る素晴らしい世界を提供してくれます。映画を通して、遠く離れた国の人や文化の息づかいに触れることができるのも大きな魅力の 1 つです。今回の映画祭を通して、皆さんならではの「日本」を感じ取って頂ければ幸いです。

来年は「日本人ブラジル移住 110 周年」です。この機を捉え、より多くの皆様に日本の多様な魅力を知って頂けるよう、在ブラジル日本国大使館は、より一層積極的に取組を進めて参ります。

最後に、ご参加頂いている皆様のご健勝、本映画祭の成功、そしてこれを通して日本とブラジルの関係が更に深まることを祈念します。

どうもありがとうございました。

（了）